

医薬品評価科学レギュラーコース (Regular Course, RC)プログラム

Course number: 2017-RC13

(※内容・講師については変更になることもございます。)

●日 時：2017年5月15日(月)～11月6日(月) 18:00-21:00

●場 所：東京大学薬学部総合研究棟2F 講堂(東京都文京区本郷7-3-1)

●問合せ先：医薬品評価科学講座 RC事務局
E-mail : prstokyo@mol.f.u-tokyo.ac.jp

Tel : 03-5800-6988 Fax : 03-5800-6949

* 詳細については担当者(河井・古山)宛にお問合せ下さい。

No.	月日	演題名(仮題)	講師名	所属
RC13-01	5月15日	受講にあたっての心構え(15分)	小野 俊介	東京大学大学院薬学系研究科
		医薬品の薬物動態学的評価/医薬品のバイオアベイラビリティと生物学同等性試験	緒方 宏泰	明治薬科大学名誉教授
RC13-02	5月22日	ファーマコゲニクスと臨床試験	越前 宏俊	明治薬科大学
		医薬品の品質・審査の考え方	奥田 晴宏	国立医薬品食品衛生研究所
RC13-03	5月29日	再生医療製品開発の現状と課題	畠 賢一郎	(株)ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
		医薬品の毒性評価	篠田 和俊	医薬品医療機器総合機構
RC13-04	6月5日	臨床評価・臨床薬理学の考え方(1)	熊谷 雄治	北里大学病院
RC13-05	6月12日	医薬品の新薬開発における品質・製造評価	安藤 秀一	第一三共(株)
RC13-06	6月19日	日本の医療制度と医薬品評価概要	藤原 康弘	東京大学大学院薬学系研究科/国立がん研究センター中央病院
		グループディスカッション(30分)		
RC13-07	6月26日	医薬品開発のためのバイオテクノロジー	小森 利彦	中外製薬(株)
		グループディスカッション(30分)		
RC13-08	7月3日	PET分子イメージングやRI内用療法を活用する医薬品開発新潮流	矢野 恒夫	大阪大学大学院医学系研究科
		ディスカッション成果発表		
RC13-09	7月10日	ディスカッション成果発表		
RC13-10	7月24日	ディスカッション総括(15分)		
		臨床試験、新薬開発のグローバル化と人材育成の意義と課題、そのために今我々は何を考え、どう行動すべきか	杉井 寛	ノボノルディスクファーマ(株)
RC13-11	7月31日	我が国におけるメディカル組織の現状と将来	高橋 希人	グラクソ・スミスクライン(株)
		開発から市販後までの医薬品安全管理	Stewart Geary	エーザイ(株)
RC13-12	8月7日	臨床評価・臨床薬理学の考え方(2)	内田 英二	昭和大学
		薬価制度とヘルステクノロジーアセスメント	福田 敬	国立保健医療科学院
RC13-13	8月21日	被験者保護・補償制度	鍋岡 勇造	中外製薬(株)
		バイオ医薬品の開発・評価	荒戸 照世	北海道大学大学院医学研究科
RC13-14	8月28日	臨床試験結果の解析(1)	越水 孝	アステラス・アムジェン・バイオファーマ(株)
		臨床試験結果の解析(2)	渡邊 裕之	(株)エルデータサイエンス
RC13-15	9月4日	医薬品開発と評価の国際的な動き	中村 龍太	医薬品医療機器総合機構
		治験・臨床試験の現場と製薬企業の関係:現状と課題	花岡 英紀	千葉大学医学部附属病院
RC13-16	9月11日	ICHの仕組み、現状と将来	横田 昌史	第一三共(株)
		医薬品開発の新しい方法論と戦略	小宮山 靖	ファイザー(株)
RC13-17	9月25日	循環器系の薬効評価・医療機器分野の進展	佐瀬 一洋	順天堂大学医学部
		グループディスカッション(30分)		
RC13-18	10月2日	ファーマコメトリクス概説	笠井 英史	サターラ合同会社
		医薬品評価の現在と将来	鹿野 真弓	医薬品医療機器総合機構
RC13-19	10月16日	グループディスカッション(30分)		
		薬剤疫学研究のデザイン	浜田 知久馬	東京理科大学工学部
RC13-20	10月23日	ディスカッション成果発表		
		ディスカッション総括(15分)		
RC13-21	10月30日	医薬品評価・承認審査の意思決定	柴田 大朗	国立がん研究センター研究支援センター
RC13-22	11月6日	抗がん剤領域の薬効評価	藤原 康弘	東京大学大学院薬学系研究科/国立がん研究センター中央病院
		修了式		